４月度月例研修会

「京都・伏見お花見ハイキング」

・実　施：4 月 6 日（水）10：00～15：30
・ルート：近鉄丹波橋駅―桓武天皇陵―伏見桃山城―御香宮神社―寺田屋―宇治川派流沿い―長建寺―月桂冠大倉記念館―近鉄桃山御陵前駅
・参加者：19 名
・幹　事：川井秀夫　青木幸子　寺田孝

4 日雨天のため 6 日に順延。幸い朝から快晴。空気が雨で洗われたような爽やかな青空。

・丹波橋駅から 15 分程で「桓武天皇陵」。広大な森の中に静かにたたずむ規模の大きな御陵。桓武天皇は 794 年に平安京に遷都し、歴代天皇の中で 10 指に入ると云われる実績をあげた。

・この御陵のほとんど隣に位置するのが「伏見桃山城」。城門を入ると広い公園の敷地に城郭を囲む満開の桜、桃などが朝日に輝いていた。

この「木幡山伏見城」は秀吉が隠居所として築城したが、秀吉没後家康が入城。関ケ原の戦いのころ石田三成に攻められ焼失。その後家康の命により再建したが、1623 年に廃城された。その本丸天守は二条城に、多くの建物は、淀城、福山城などに移築された。現在の城は、木幡山伏見城を模した模擬天守（コンクリート製）である。

桜の城郭がよく見渡せる一角に敷物をしいて花見の小宴。爽やかな微風が吹き桜、桃などの微薫の中、全員で乾杯。ビール、お酒、つまみが適当にあり落ち着いた和やかな花見となった。快適な雰囲気に、ここでゆっくりしようという意見もあったが、予定通り 12 時半過ぎに次の「御香宮神社」に移動。

・「御香宮神社」の表門は伏見城大手門を移築したもので、どっしりとした豪壮な構え。家康造営の本殿とともに重要文化財。境内には名前の由来となった湧き水「御香水」があり、大きな紅しだれ桜が満開で見ごたえがあった。

この社は鳥羽伏見の戦いでは薩摩藩の屯所になったが、兵火を免れた。

・京阪電車「伏見桃山駅」の横から伏見大手筋商店街、竜馬通り商店街を通って「寺田屋」へ。

「寺田屋」は伏見の船宿。薩摩藩の急進派と穏健派の死闘、ここを常宿としていた坂本龍馬が襲撃された現場として有名。建物内は当時の様子が再現・展示されている。半数以上の人が見学。

・「寺田屋」の前を流れるのが「宇治川派流」。秀吉の伏見城築城の建築資材を運ぶために作られた。現在は川に沿って桜並木が作られ、毎年 4 月第 1 日曜日桜まつりが開かれている。この川べりの桜並木道を 30 分程「長建寺」まで歩く。桜はまさに満開で、風情のある道であった。

・「長建寺」を経て「月桂冠大倉記念館」へ。酒造りの歴史と工程が展示されている。試飲なども楽しみがら休憩後ここで解散。

「近鉄桃山御陵前駅」から帰路につきましたが、爽やかな天候に恵まれ、処々の桜も超満開で格好のお花見ハイキングとなりました。ご参加の皆さま幹事の方々お疲れ様でした。　（寺田　孝）